

登録コード	E0500900	開講年度	2026			
授業科目	生活基礎				担当教員	水谷 瑞希
英文授業名	Life Science and Environmental Education				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学生
講義室	教育図書2階講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	自然環境や生活体験に関する基礎的な知識や技能、自然観を身につける。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	地域の自然や環境を題材とした生活科の授業を構想することができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本授業では、生活科において重要な要素である「自然」を扱います。生活科の授業を構想・実践するためには、教師自身が自然に関する正しい知識や技能、自然観を備えることが求められます。授業前半では、身近な自然から森林まで幅広い環境における生態学的な話題を取り上げ、小学校での生活科実践事例を交えながら解説します。あわせて、指導者自身が豊かな自然体験を持つことの重要性をふまえ、自然や生活を題材としたアクティビティを体験する課題を設けます。授業後半では、実際の授業実践や子どもたちの発表事例をもとにグループ討論を行い、地域の自然・環境を題材とした生活科の授業を構想する力を養います。なお、本授業で扱う自然観察・体験活動・授業構想は、教科横断的な探究活動を重視するSTEAM教育とも関連する学習プロセスを含みます【STEAM教育含む内容】。担当教員は自然教育施設での実務経験を有しています。					
(5)授業計画	第 1回：ガイダンス 第 2回：生活科の振り返り 第 3回：身近な自然・里地の自然①：自然観察 第 4回：身近な自然・里地の自然②：外来種 第 5回：森林の自然①：どんぐり 第 6回：森林の自然②：いきもののつながり 第 7回：動物とのかかわり 第 8回：環境教育とESD/SDGs 第 9回：授業実践からの学び①飼育 1 第10回：アクティビティ体験 第11回：授業実践からの学び②飼育 2 第12回：授業実践からの学び③栽培，授業アンケート 第13回：授業実践からの学び④：成果発表＆交流会（オンライン） 第14回：授業実践からの学び⑤：成果発表＆交流会（オンライン） 最終レポート（第12回講義で指示。学習指導案の作成を含みます）					
(6)成績評価の方法	成績評価は①授業ごとのコメントペーパー、ワークシート等（30%）、②アクティビティ体験レポート（20%）※(6)に詳述、③最終レポート（30%）、④成果発表＆交流会へのコメント（20%）の4要素で行います。 ・得点率による評価基準は次のとおりです。 90%以上 秀、89-80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	1)アクティビティ体験レポート 以下の4つの観点で評価します： ・テーマの理解と取り組み姿勢：テーマを正しく理解し、真摯に取り組んでいるか。 ・内容の伝達力：体験した内容を他者に伝えられるレポートになっているか。 ・学びの実感：体験を通じて何を学んだかを実感的に示しているか。 ・生活科指導への応用：体験を生活科指導に結び付けた省察を行っているか。 これらの観点で3つ以上の項目で高評価を得た場合、「卓越している」または「かなり上にある」と評価します。 2)最終レポート 講義の総括として、講義内容を踏まえた適切で具体性のあるレポートを「卓越している」または「かなり上にある」と評価します。 3)成果発表＆交流会へのコメント 参加の積極性と、児童・生徒に対する配慮がある適切な内容であることを基準に評価します。 4)共通評価基準 いずれのレポートでも以下の観点で評価します： ・題意把握・内容理解 ・論理構成・考察力 ・表現・文字の正確さ ・引用・出典明示（該当する場合） なお、提出期限の遅延は減点対象となります。					

(8)事前事後学習の内容	授業のうちグループ討議を行う回では、事前にワークシートに記入し持参することを求める場合があります。また「アクティビティ体験レポート」では、生活科に関連した体験活動をまとめたアクティビティ集（eALPSに掲載）から5件のメニューを選択し、みずから体験して、その概要や所感、指導時の配慮等をまとめ、レポートとして提出します。このほか、常日頃から身近な自然に注意を払って観察するようにしてください。 ※本講義は90時間の学修を必要とする内容であるため、60時間以上の時間外学習を想定すること。
(9)履修上の注意	グループワークではGoogleグループウェアを使用します。受講時にはネットワークに接続可能なPC等を持参してください。 第13回、14回の授業は、1月末～2月上旬に開催する「信州ESD/SDGs 成果発表&交流会」にオンラインで参加します。事後のアーカイブ視聴での履修も可能ですが、可能な限り当日参加してください。とくに4年生は、実施日から卒業判定にかかる単位認定までの日数が短いので注意してください。教育実習による欠席への対応は、授業中で指示します。
(10)質問、相談への対応及び連絡先	教育キャンパスでの勤務は不定期ですので、質問・相談等は事前にメールでアポイントメントをとってください。メールアドレス：mmizuki@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	指定しません。必要な資料はeALPSを通じて配布します。
【参考文献】	文部科学省『【生活編】小学校学習指導要領（平成29年告示）解説』、信州教育出版社『せいかつ 上 あおぞら』（令和6年度版）、信州教育出版社『せいかつ 下 そよかぜ』（令和6年度版）